



東京都高等学校数学教育研究会
事務局 都立神代高等学校内
事務局長 宇佐美 俊哉
発行所 都立八王子北高等学校内
編集発行人 川端 由美子
都数研HP <http://tosuiken.jp/>

令和3年度 総会

令和3年度総会が、令和3年5月15日(土)14:00から当初予定されていた都立多摩科学技術高等学校からオンラインによる形態に急遽変更して行われた。議事の流れは以下の通りである。

1. 令和2年度 事業報告
2. 令和2年度 決算および監査報告
3. 令和3年度 役員選出
4. 令和3年度 会長挨拶
5. 令和3年度 事業計画
6. 令和3年度 予算
7. 令和3年度 役員・理事

なお、上記3にある役員選出であるが、昨年度の佐々木会長に代わり、今年度から田柄高校の加藤校長が会長に就任された。主な役員一覧は以下の通りである。

会 長 加藤 竜吾 (田柄・長)
副 会 長 塩谷 耕 (京華女子・長)
石崎 規生 (桜修館・長)

会長挨拶



会長 加藤 竜吾 (田柄高・校長)

この度、令和2年度会長 佐々木雅人先生の後を受けて、令和3年度東京都高等学校数学教育研究会会長となりました東京都立田柄高等学校長の加藤竜吾です。どうぞよろしく申し上げます。都数研会員の先生方には、日頃より都数研の活動にご協力いただき、深く感謝申し上げます。

都数研は、今年度75周年の節目の年を迎えました。令和3年は大学入試共通テストの開始や令和4年度からの改訂高等学校学習指導要領の全面実施など、高等学校数学教育において大きな変革の年となっております。一方で、昨年からは猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症対応については、第4波の状況や変異型が増加する中、学校教育におけるオンラインを初めとしたこれまでになく教育活動も伴いながら研究活動を進めていくこととなります。

令和2年度は、都数研活動のほとんどがオンラインによる対応を中心としたものになりました。都数研では平成19年度から東京都教職員研修センターとの連携研修を進めてきたところ

事 務 局 長 宇佐美 俊哉 (神代)
事 務 局 次 長 池田 卓也 (一橋)
研 究 部 長 幸田 諭昭 (立川国際・長)
副 部 長 久保田 聡 (五日市・長)
佐々木 雅人 (篠崎)
定 通 部 長 松村 正博 (江北)
編 集 部 長 川端 由美子 (八王子北・長)
副 部 長 白鳥 靖 (多摩科学技術・長)
大島 和華子 (若葉総合・副)
奥村 英夫 (篠崎)
水本 香 (秋留台)
監 事 萩原 聡 (西・長)
高橋 豊 (高島・長)
梅原 章司 (日比谷・長)

その他の議事は全て承認され、研究発表に移った。発表に関しては次のページに記載する。

でしたが、都数研の意図する授業研究を中核とした研究会の開催について制限を受け、都数研としては、引き続き東京都教育委員会における研究推進団体の体制は維持するものの、授業研究会等については独自開催していく体制に改めて進めていくことにしました。基本的には、これまでの研究部分科会と編集部活動を維持していきたいと考えております。

そこで、令和3年度の東京都高等学校数学教育研究会研究テーマとして、「改訂高等学校学習指導要領全面実施に向けた数学教育の研究：コロナ禍において学びを止めない数学学習を目指して」を設定しました。

研究部では、学習指導法分科会、大学入試分科会、ICT分科会、数学I分科会、定通分科会で授業研究を中核とした議論を進めていきます。また、編集部では、「研究集録」の発行や各分科会の成果を年3回発行の「会報」にまとめ、都数研のホームページに掲載することで、全国に向けて発信してまいります。

コロナ禍における様々な制限はありますが、都数研では、今年度も会員の先生方による研究を推進していけるよう、出来る限りの対応してまいりますので、どうぞよろしく申し上げます。